

Mizuho Daily Market Report

2024/1/17

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.15	147.19	+1.46	+2.71
EUR	1.0919	1.0875	▲0.0075	▲0.0056
AUD	0.6618	0.6584	▲0.0076	▲0.0103
SGD	1.3371	1.3425	+0.0091	+0.0115
CNY	7.1829	7.1877	+0.0162	+0.0190
MYR	4.6851	4.6945	+0.0238	+0.0520
THB	35.13	35.37	+0.42	+0.42
IDR	15591	15591	+36	+71
PHP	55.82	55.83	+0.04	▲0.20
INR	82.96	83.08	+0.19	▲0.04
VND	24511	24502	+15	+146

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.058%	+11.9 bp	+4.5 bp
日本(10年)	0.600%	+3.0 bp	+0.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.258%	+2.5 bp	+7.0 bp
オーストラリア(5年)	3.780%	+6.7 bp	+0.4 bp
シンガポール(5年)	2.691%	+3.5 bp	▲3.8 bp
中国(5年)	2.423%	+0.9 bp	+4.0 bp
マレーシア(5年)	3.561%	+1.5 bp	▲5.2 bp
タイ(5年)	2.420%	+0.4 bp	▲3.1 bp
インドネシア(5年)	6.507%	▲2.1 bp	▲11.9 bp
フィリピン(5年)	5.893%	▲3.4 bp	▲1.8 bp
インド(5年)	7.065%	+0.3 bp	▲5.0 bp
ベトナム(5年)	1.430%	▲4.0 bp	▲15.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,361.12	▲0.6%	▲0.4%
N225(日本)	35,619.18	▲0.8%	+5.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,446.51	▲0.2%	▲0.5%
ASX(オーストラリア)	4,134.31	▲0.4%	▲1.5%
FTSE1(シンガポール)	3,184.99	▲0.5%	▲0.4%
SSEC(中国)	2,893.99	+0.3%	+0.0%
KLSE(マレーシア)	73,128.77	▲0.3%	+2.4%
SETI(タイ)	7,242.79	+0.3%	+0.6%
JKSE(インドネシア)	1,493.87	▲0.5%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,637.00	▲0.7%	+0.3%
SENSEX(インド)	1,401.72	▲0.4%	▲0.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,163.12	+0.8%	+0.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	264.30	▲0.0%	▲0.1%
金	2,028.44	▲1.4%	▲0.1%
原油(WTI)	72.40	▲0.4%	+0.2%
銅	8,268.00	▲0.2%	+0.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.50	—	148.00
EUR/USD	1.0820	—	1.1080
AUD/USD	0.6480	—	0.6680
USD/SGD	1.3240	—	1.3470
USD/CNY	7.1500	—	7.1950
USD/INR	4.6300	—	4.7130
USD/THB	34.28	—	35.82
USD/IDR	15430	—	15600
USD/PHP	55.40	—	56.48
USD/VND	82.60	—	84.00
USD/VND	24,100	—	24,530

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は145円台後半でオープン。オープン直後は下押し圧力が強く、145円台半ばまで下落するも、仲値にかけて値を戻すとその流れのまま146円を突破。一度は押し返されるも、米国の早期利下げ織り込みの剥落を受けたドル買いも進む中、146円台前半まで上値を伸ばし、同水準で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に下落。米国の利下げ織り込みが後退しドル高基調となったことでアジア通貨は下落する展開となった。

海外市場のドル円は146円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米1月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を下回った事が嫌気され、一転売りが優勢となり、146円台前半まで下落。しかし、その後ウォーFRB理事が「以前ほど迅速に利下げしたり急いだりする理由はない」との発言を受け、早期利下げ観測が後退し、再び買い地合いとなり147円台前半まで反発。NY午後も底堅い推移が継続し147円台前半でクロスした。

【金利】

ロングウィークエンド明けの金利市場は上昇。長期で特に上昇し、イールドカーブはスティープ化。10年債利回りは、一時4.08%を付けた。NY朝方の指標発表ではNY連銀の景況感指数が弱い数字となったことで買いが強まる場面もあったが、その後はFRB理事の利下げに慎重な発言を受けた売りなどで急上昇した。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日ウォーFRBが早期利下げについて慎重な見方を示したことで市場においても利下げ観測が後退。今月に入り急速なドル高円安が進んでいることを踏まえると約1ヵ月ぶりの水準となる147円台では調整の動きも想定されるものの、基本的には利下げ観測後退を受けたドル買い優勢の流れが継続すると予想。

【本日の予定】

(アジア) 12月 シンガポール 非石油地場輸出 / 電子機器輸出
(アジア) インドネシア 金融政策会合
(欧州) 11月 英 住宅価格指数
(欧州) 12月 ユーロ圏 CPI (確)
(欧州) 12月 英 CPI
(欧州) 12月 英 PPI
(欧州) 12月 英 小売物価指数
(欧州) 独 国債入札(30Y)
(米国) 11月 企業在庫
(米国) 12月 小売売上高
(米国) 12月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) 12月 鉱工業生産 / 設備稼働率 / 製造業
(米国) 1月 NAHB住宅市場指数
(米国) 1月 ニューヨーク連銀サービス業活動
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演
(米国) バーFRB副議長講演
(米国) ペーリュック
(米国) ホウマンFRB理事講演
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。